

作成日 2015年6月19日

改訂日 2018年4月24日

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

製品名 : クリアソルブ
会社名 : 田村製薬株式会社
住所 : 〒350-0404 埼玉県入間郡越生町成瀬8 2 9 番地6
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : 049-292-2150
Fax 番号 : 049-292-2983

推奨用途及び使用上の制限 : 洗浄剤

2 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚の腐食 : 区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1
特定標的臓器毒性 : 区分2

*記載のないものは区分外、分類対象外又は分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
臓器の障害のおそれ(呼吸器系)

注意書き

安全対策 : 取扱い後は良く洗うこと。
応急措置 : 飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗い、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄すること。

必要に応じて、医師の診断・手当を受けること。

保管 : 密閉容器に保管すること。

廃棄 : 承認された廃棄物処理設備で処分すること。

3 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分：混合物

成分及び含有量

化学名又は一般名	CAS 番号	化審法	濃度又は濃度範囲
水	7732-18-5	対象外	>70%
水酸化ナトリウム	1310-73-2	(1) -410	<5%
水酸化カリウム	1310-58-3	(1) -369	<5%
ノニオン界面活性剤	非公開	非該当	<10%
ノニオン界面活性剤	非公開	非該当	<50%

毒物及び劇物取締法：非該当

該当物質は含有するが、規定量以下のため非該当

安全衛生法

通知物質：法第 52 条の 2、勢子令 18 条の 2 別表第 9

名称を通知すべき有害物質

政令番号	物質名	含有量
316	水酸化カリウム	5%未満
319	水酸化ナトリウム	5%未満

有機溶媒中毒予防規則：非該当 当該物質は含有しない

4 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で 15 分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外し、洗浄すること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を
流水/シャワーで洗うこと。/再使用する場合は洗濯すること。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させること。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませる。
口をすすぎ、無理に履かせないこと。直ちに医師の処置を受ける。

予想される急性症状
及び遅発性症状

最も重要な兆候及び症状 : 情報なし
応急措置をする者の保護 : 情報なし
医師に対する特別な注意事項 : 情報なし

5 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、霧状水、砂等
使ってはならない消火剤 : 棒状注水
特有の危険有害性 : 燃焼ガスには有害ガス（一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等）が含まれる場合があるので、消火作業の際には煙を吸入しないこと。
特有の消火方法 : 消火作業は風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。周囲の設備等に散水して冷却する。燃焼源の供給を速やかに止める。
消火を行うの者の保護 : 消火作業の際は必ず保護具を着用する。消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。

6 漏出時の措置

人に対する注意事項、保護具及び緊急措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガス等を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

河川等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。少量の場合は吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

大量の場合は盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

付近の着火源となる物を速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。床の濡れた状態で放置すると、滑りやすくなりスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生させない安全な工具を使用する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること
- 注意事項 : 火気厳禁
- 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を充分に行う。
保護メガネ、保護手袋等の適切な保護具の着用。
- 衛生対策 : 取扱い後は良く手を洗うこと。

保管

- 保管条件 : 涼しい所/換気のよい場所で容器を密封し保管すること。
火気厳禁。
- 容器包装材料 : 製品仕様容器に準ずる。

8 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度 : 下記物質以外は設定されていない

水酸化ナトリウム ACGHI 許容濃度 TLV-C* 2mg/m³

水酸化カリウム ACGHI 許容濃度 TLV-C* 2mg/m³

設備対策

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。適切な排気換気装置を使用する。設備は電気対策を講じる。

保護具

- 呼吸の保護具 : 保護マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼の保護具 : 側板付き保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

* : 「Threshold Limit Value Ceiling」の略語。被曝上限値と訳す。作業被曝において瞬間的にでも越えてはならない有害物質の濃度。

9 物理的及び科学的性質

- 外観 : 無色透明
- 臭い : 特異臭
- pH : 12 以上(@25°C)
- 融点・凝固点 : 情報なし
- 引火点 : 情報なし
- 爆発範囲 : 情報なし

溶解度	: 情報なし
粘度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし

1.0 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件下では安定。
反応性	: 情報なし
危険有害反応可能性	: 通常の取扱い条件下では危険有害反応なし
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 情報なし

1.1 有害性情報

水酸化ナトリウム

皮膚腐食性刺激性	: 皮膚、粘膜を刺激する
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 激しい刺激を与える

水酸化カリウム

皮膚腐食性刺激性	: 皮膚、粘膜を刺激する
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 激しい刺激を与える
皮膚腐食性及び皮膚刺激性(製品として)	: 火傷を引き起こす。
眼に対する重大な損傷又は眼刺激性(製品として)	: 火傷を引き起こす。

1.2 環境情報影響

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし

1.3 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。 廃棄する場合、内容物の国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後

に、容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

都道府県知事の許可を得た産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

1.4 輸送上の注意

国連番号	: なし
品名	: なし
国連容器	: なし
容器等級	: なし
海洋汚染物質	: 情報なし
国内規則	: 陸上規制情報 消防法の規定に従う。 : 航空規制情報 航空法の規定に従う。 : 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
輸送の特定の安全対策	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1.5 適用法令

労働安全衛生法	: 通知対象物質 水酸化カリウム (316) 水酸化ナトリウム (319)
化審法	: 優先評価化学物質 POE アルキルエーテル(C=10~14)
船舶安全法	: 腐食性物質
航空法	: 腐食性物質

1.6 その他の情報

引用文献

- 1) 日本界面活性剤工業会 GHS 分類データ
- 2) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS 分類データ

ここに記載された危険性・有害性の情報は、当社の最新の調査・評価に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の手配を前提としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、有効性を確認していません。

本製品安全データシートは、新たな情報を入手した場合、追加・訂正されることがあります。